

福岡市NPO活動支援基金 (あすみん夢ファンド) 令和3年度 活動報告書



福岡市市民局コミュニティ推進部
市民公益活動推進課

はじめに

「福岡市NPO活動支援基金(愛称：あすみん夢ファンド)」へ
ご寄付をいただき、ありがとうございました。

あすみん夢ファンドはNPOの公益的な活動に必要な資金を助成するとともに、寄付を通じた社会貢献意欲を高めることにより、市民の自主的かつ自発的な公益活動の促進を図ることを目的として設置しています。

令和3年度は、**5,655,045円**のご寄付をいただき、**5**のNPO法人の活動を支援することができました。

また、令和2年度からは、新型コロナウイルスの感染拡大により、様々な困難に直面する人・団体を支援するNPO法人の事業に助成しています。

新型コロナ対策支援として、
令和3年度は、**1,594,000円**のご寄付をいただき、**11**のNPO法人の活動を支援することができました。

本報告書は、
これらの活動についてご寄付をいただいた方々をはじめ
多くの皆様へお知らせするものです。

今後ともNPO法人へのご理解・ご支援をよろしくお願いいたします。

※NPO法人への支援額（補助金の額）は、補助年度の前年度末の基金残高を限度とします。

目次

1. 令和3年度福岡市NPO活動推進補助金 ————— 4

- 特定非営利活動法人アジア太平洋こども会議・イン福岡 ————— 5
- 特定非営利活動法人子どもNPOセンター福岡 ————— 6
- 特定非営利活動法人循環生活研究所 ————— 7
- 特定非営利活動法人福岡シュタイナー学園 ————— 8
- 特定非営利活動法人YNF ————— 9

2. 新型コロナウイルス対策支援第1回 ————— 10

- NPO法人ウィッグリング・ジャパン ————— 11
- 特定非営利活動法人YNF ————— 12

3. 新型コロナウイルス対策支援第2回 ————— 13

- NPO法人アコア ————— 14
 - NPO法人ウィッグリング・ジャパン ————— 15
 - 特定非営利活動法人W i n g - W i n g ————— 16
 - 特定非営利活動法人O n P a l ————— 17
 - 特定非営利活動法人グローバルライフサポートセンター ————— 18
 - 特定非営利活動法人チャイルドライン「もしもしキモチ」 ————— 19
 - 特定非営利活動法人日本交通安全教育振興会 ————— 20
 - 特定非営利活動法人箱崎自由学舎E S P E R A N Z A ————— 21
 - 認定NPO法人にこスマ九州 ————— 22
-

令和3年度福岡市NPO活動推進補助金

1 対象団体

定款に定める事務所の所在地が福岡市内にある特定非営利活動法人(NPO 法人)

2 対象事業

地域社会の発展に資すると認められる活動であって、NPO法に定める19の分野のいずれかに該当する事業（宗教活動、政治活動または選挙活動を除く）

3 補助金の額

＜ステップアップ＞

- 1回目：補助対象経費の80%以内、1団体あたり上限50万円
- 2回目：補助対象経費の70%以内、1団体あたり上限50万円
- 3回目：補助対象経費の60%以内、1団体あたり上限50万円

＜スタートアップ＞

補助対象経費の80%以内、1団体あたり上限10万円

4 交付団体数

5団体

特定非営利活動法人アジア太平洋こども会議・イン福岡

＜日本のこども グローバル人材育成プログラム＞

— 令和3年度補助額：2,169,837円—

団体紹介

世界のこども達に対して、交流促進への支援に関する事業を行い、世界のこども達が、国や地域、文化について考察し、言葉や文化・政治・宗教の違いを乗り越えて友情を育み相互理解を深めることや、平和を願う豊かな国際感覚あふれる青少年の育成に寄与しています。また、これらの活動を行うことで、世界の平和と共生を実現させることを目的として事業を企画運営しています。



補助事業概要

■派遣型事業ブリッジチャレンジトリップ 国内研修

2022 年春の海外派遣を中止決定したため、国内研修も中止となりました。中止決定するまでは、研修会等の企画・準備などを行い、中止決定後は次年度への検証を行いました。

■事業参加や

ボランティアへの参加促進・育成

これまで関わった参加者、ボランティア、そしてこれから国際交流へ参加するこども達、ボランティアで参加しようと思う市民へカジュアルな交流会を企画し参加してもらうことで、国際交流に興味をもってもらい、きっかけ、気付きを与えることができました。



【例年のチャレンジトリップ
研修・現地の様子】



【海外参加者含めての
オンライン交流会の様子】

特定非営利活動法人子どもNPOセンター福岡

＜「子どもにやさしいまちづくり」ネットワーク推進事業 2021＞

— 令和3年度補助額：161,840円—

団体紹介

子どもに関わる市民のネットワークづくりとNPOの基盤づくりを進め、共に子どもの諸課題に取り組むことを通して、すべての子どもが尊重される社会を実現することを目的としています。市民のつながりと協働で子どもにやさしいまちづくりを進めるためのプラットフォームを作り、そこから生まれる新しい価値を社会に提言していく組織です。



【子どもの権利の普及ツール】

補助事業概要

子どもの権利条約を中心に学習・交流する「こまちひろば」7回の講座開催により、子どもの権利を大切にする子どもにやさしいまちづくりネットワークへの登録者が増え、成果目標「分野を超えた連携」を、達成することができました。参加者からは子どもの権利の視点からの現状と課題や取り組みのヒントなど、学びが深まったとの声が多くありました。また、子どもの権利普及ツールの開発では、子どもの意見を取り入れて改善しながら「子どもにやさしいまちボードゲーム」及び「子どもの権利リーフ」等4件を作成できました。



【こまちひろば 10月11日の講座の様子】



【こまちひろば 2月14日の講座の様子】

特定非営利活動法人循環生活研究所

＜三苫LFCコミュニティガーデンで実現する生ごみの栄養循環＞

ー 令和3年度補助額：500,000円ー

団体紹介

生ごみの栄養が循環する、持続可能なライフスタイル「たのしい循環生活」を目指し、コンポストの普及啓発に取り組んでいます。コンポスト講座の他、指導者の育成や、堆肥を使った菜園講座、半農都会人®講座等を行っており、近年は、コミュニティコンポストの実践を軸とした、栄養循環のしくみ「LOCAL FOOD CYCLING」の実践と普及に力を入れています。



【子ども向けコンポスト講座（美和台校区）】

補助事業概要

東区三苫および美和台校区を対象に、コンポストの普及と、栄養循環をサポートする「LOCAL FOOD CYCLING」に取り組みました。令和3年度の当事業が三苫校区でのコンポスト普及の足掛かりとなり、令和4年度も三苫公民館で普及講座の開催が3回ほど実施・予定されています。「地域でできた堆肥を地域で活用し、育った野菜を食べる」機会を増やすことで、コンポストの継続を支えることができました。美和台校区では継続した取り組みであり、公民館主事より「なくてはならない仕組みになっている」と評価いただきました。



【サツマイモ収穫体験（三苫菜園）】



【見守りコンポスト（美和台校区）】

特定非営利活動法人福岡シュタイナー学園

＜オルタナティブとしてのシュタイナー教育を広げる!!プロジェクト＞

— 令和3年度補助額：337,500円—

団体紹介

当学園では、シュタイナー教育を軸に、子どもの年齢や心身の成長段階に応じた独自の教育を行っています。
昨今、不登校が増加する中でオルタナティブスクールの選択肢として「こどもの居場所」となれるよう学園運営を行っています。



【チラシ】

補助事業概要

脳科学者である黒川伊保子先生をお招きし、第一部では脳科学の観点から子どもの脳の育ちのために、どのような環境を整えてあげると良いかなどを話していただきました。第二部では学園教師、保護者を交えて対談形式で脳科学とシュタイナー教育の共通点を、実際の体験をもとに探っていただきました。来場者95名、オンライン94名の方が参加され、「子どものペースを尊重し笑顔で見守ることに努めたい」「子どもや家族への接し方、自分のふるまい方等、今日から実践できることがたくさん学べました」などの感想を頂きました。



【講演会の様子】



【対談の様子】

新型コロナウイルス対策支援第1回

1 対象団体

定款に定める事務所の所在地が福岡市内にある特定非営利活動法人(NPO 法人)

2 対象事業

新型コロナウイルスの感染拡大により、様々な困難に直面する人・団体を支援する事業

3 補助金の額

1 団体あたり上限 50 万円

4 交付団体数

2 団体

NPO法人ウィッグリング・ジャパン

<オンライン&会場開催ハイブリッド医療セミナー事業>

— 令和3年度補助額：260,000円—

団体紹介

がん治療は医師を中心に医療従事者が行いますが、病院を出た後の生活上の相談をする場所がないことに不安を持つ患者が多くいます。治療中のがん患者を孤独にしないよう、病院を出た後の相談と外見のケアができる受け皿をつくるため、がんという病気・心と外見のケアを学び、社会全体でサポートしていけるような認定講座を作って受講生を募り、認定サポーターとして世に送り出しています。



【セミナーの Web 配信】

補助事業概要

ウィッグリング・ジャパンの活動の中で大きなウエイトを占めるのが「CAFÉ で学ぼうがんのこと」セミナーですがコロナの影響で集合セミナーを開催することが厳しい状況の中、セミナーをリアルと Web 配信によるハイブリッドセミナーへの取り組みに重点を置くようにしました。参加者については当初は告知の不十分さから、なかなか増えなかったのですが、この1年で県外（東京など）からの参加者が増えてきました。特にがん治療中の方々からは Web 参加だと感染のリスクを低減できるという事で大変好評を得ています。



【YouTube チャンネル「チアーズスタイル」
とのコラボによるがん啓発活動】



【CAFÉ で学ぼうがんのここの様子】

特定非営利活動法人YNF

<新型コロナ禍における動画で学ぶ浸水被害後の家屋対応講座>

— 令和3年度補助額：437,588円—

団体紹介

一人ひとりの事情に合わせた支援を行う災害ケースマネジメントという手法を用い、各地で被災者支援を行っている災害支援団体です。合わせて災害ケースマネジメントの普及・啓発や防災・減災活動にも取り組んでいます。



【ホームページ】

補助事業概要

新型コロナウイルスの影響により県外移動が困難な状況となり、各被災地ではボランティア不足が深刻化しています。こうした背景から、被災時に被災者が手軽に見ることができるよう被災家屋への対応方法を動画にまとめ、当団体ホームページにて無料公開しました。

今後水害が発生した際には、動画のリンク先を印刷したチラシを配布するなどすることで、可能な方は自助で被災家屋対応を行ってもらうための呼びかけにもつなげていきます。



【ホームページに無料公開している動画】

新型コロナウイルス対策支援第2回

1 対象団体

定款に定める事務所の所在地が福岡市内にある特定非営利活動法人(NPO 法人)

2 対象事業

- 新型コロナウイルスの感染拡大により、様々な困難に直面する人・団体を支援する事業
- 新型コロナウイルスが感染拡大する中、事業の中止・延期等により様々な困難に直面する人・団体を増やさないよう、新しい手法や創意工夫等によって行う事業

3 補助金の額

1 団体あたり上限 50 万円

4 交付団体数

9 団体

NPO法人アコア

<「アコアエンパワーイベントと動画制作」>

— 令和3年度補助額：212,080円—

団体紹介

女性や障がい者に対して、心身の回復と自立支援に関する事業を行い、女性の人権向上と障がい者福祉の増進に寄与することを目的とし、自助ミーティング、カウンセリング、セラピー、自立支援に関する情報提供事業、イベントの企画・運営、教育・研修事業および障がい者に対する福祉サービス事業を行っています。



【イベントチラシ】

補助事業概要

エンパワーイベント勉強会「DV 虐待当事者が語る「二次被害」」を開催。DV・虐待当事者及び家族・支援者・一般市民等29名が参加しました。参加者から「事例を交えた講演で自覚が生まれた」「グループディスカッションで希望を感じた」「知ることの重要性に気付いた」「支援者にもこの場が必要だ」「社会に向けての行動を起こしたい」等の声が出ました。終了後は動画4本をYouTubeチャンネルで公開。今後の啓発に活かせる大きな収穫となりました。



【イベント（講演会）風景】



【エンパワーイベント記録動画】

NPO法人ウィッグリング・ジャパン

＜抗がん剤による脱毛や脱毛症等による薄毛・脱毛などでウィッグを必要としている方が、パソコンやスマホから幅広く医療用ウィッグを選べるようになるウィッグ手配のデジタル化事業＞

ー 令和3年度補助額：500,000円ー

団体紹介

がん治療は医師を中心に医療従事者が行いますが、病院を出た後の生活上の相談をする場所がないことに不安を持つ患者が多くいます。治療中のがん患者を孤独にしないよう、病院を出た後の相談と外見のケアができる受け皿をつくるため、がんという病気・心と外見のケアを学び、社会全体でサポートしていけるような認定講座を作って受講生を募り、認定サポーターとして世に送り出しています。

補助事業概要

抗がん剤の使用で脱毛した女性にウィッグをレンタルすることにより、精神的・経済的なダメージを軽減しピアランスケア（外見のケア）を行っています。ウィッグのデジタル化販売に向け、寄付されたウィッグを1つ1つ査定し、マネキンにかぶせてスタイリングし、複数方向からの撮影、ウェブサイトアップなどをしました。ウェブサイトをご覧になった方からは、ウィッグの髪形や様子が分かって良いと言っていた一方、ウィッグの裏地等の状態が分かる写真を載せてほしいというご意見も頂きました。手術や脱毛症等、様々な理由でウィッグが必要となった方へ門戸を拡げていきます。



【オンラインショップの販売ページ】



【ボランティアの方々】



【寄付されたウィッグ】

特定非営利活動法人Wing-Wing

＜子どもと保護者の心を健やかに育む「子育て応援サロン会」事業＞

ー 令和3年度補助額：460,000円ー

団体紹介

子ども達の未来を応援し家族の笑顔
を創造することを目的として、平成
26年12月に発足。「心と身体のバ
ランス作り」「コミュニケーション力
の向上」「自己肯定力の構築」を基軸
に、家族の成長と子ども達の自立心を
育む活動として「子ども教室」「保護
者セミナー」「親子イベント」の開催
や「情報発信」を行っています。



【2「親子でヨガ教室」の様子】

補助事業概要

おうち時間を子どもと楽しく過ごす、Wing-Wingの学びの講座として、
「子育てを楽しく・前向きに」をテーマにオンラインのみで全4回開催し
ました。

- 1「イライラしない子育てのヒント」
- 2「親子でヨガ教室」
- 3「大人から子どもへ、言葉の伝え方」
- 4「親子でビジョントレーニング体験」

どの講座も非常に満足度が高く、アンケートで「参加して良かった」「勇気
をもらえた」「楽しい時間を過ごすことができた」という声を多数いただき
ました。参加者の子育てに対する気持ちを前向きにし、親子のおうち時間
を楽しめるものにできたことは大きな成果です。



【3「大人から子どもへ、言葉の伝え方」の様子】



【4「親子でビジョントレーニング体験」の様子】

特定非営利活動法人OnPal

<入院している子ども達に音楽動画をネット配信する事業>

— 令和3年度補助額：500,000円—

団体紹介

OnPalでは、音楽家が、九州大学病院やこども病院、特別支援学校などに入院、通学している子ども達に「音楽授業」や「コンサート」をボランティアで届けています。私たちは、この活動に参加するアーティストや仲間たちが優しさを共有し、新たな活動の場が広がり、私たちのまちが音楽のあふれる心豊かなまちになることを目指しています。



【オンライン配信のスタジオ

（チェロの音楽授業）】

補助事業概要

九州大学病院、福岡市立こども病院をはじめ多くの病院に入院している子ども達に、YouTube「おんぱるチャンネル」でフルートや歌の音楽授業、クリスマスコンサートなど7作品を配信しました。また、3月16日には、チェロの音楽授業を、スタジオから九州大学病院と福岡市立こども病院にオンラインで同時配信を初めてしました。クリスマスコンサートの動画を見た子ども達からは、「素敵なコンサートをありがとうございました。」「治療がんばります！！」というたくさんのお便りを頂きました。



【おんぱるチャンネルのサムネイル（左：クリスマスコンサート 右：歌の音楽授業）】

特定非営利活動法人グローバルライフサポートセンター

＜外国人と外国人に係る企業・団体・個人向け相談・サポート事業＞

— 令和3年度補助額：500,000円—

団体紹介

当団体の理念として「地域住民に対して、国籍、性別に関わりなく個性と能力を発揮することができる社会を目指し相談会及び教育支援等を中心とした事業を行い、国際協力、まちづくりの推進、男女共同参画社会の形成の促進を図る活動の健全化及び健やかに暮らせること」を目指しています。また、相談業務を中心に、外国人本人とそれに関わる日本人に向けてサポートを行っています。

補助事業概要

外国人と外国人に係る企業・団体・個人向けに相談業務・サポート業務を行いました。

事業効果としては、受益者（外国人及び外国人に係る企業・団体・個人）は、当団体の相談窓口を通して短時間での確かなアドバイスとサポートを受けることができ、5か月間で240件の相談がありました。SNSの活用で口コミ広報を行うことにより外国人にも情報が行き渡り、前年度の相談実績より25%相談件数が増えています。通訳サポートを行うことにより相談者の相談でのストレスを軽減することができました。離婚などの法律相談が必要な場合は法テラスの相談窓口を紹介したり、ハローワークの多言語相談窓口を案内するなど然るべき既存の窓口へ繋ぐことで、相談者・窓口担当の負担軽減・効率化にも繋がりました。

令和3年度福岡市NPO活動推進補助金



無料相談

福岡市NPO活動推進事業補助金
外国人と外国人に係る企業・団体・個人向け相談・サポートセンター事業
※相談の場、手配、材料費は必要に応じて別途費用が必要になる場合があります。

お問い合わせは
Tel 092-283-8880
Mail support@ngo-global.jp

**外国人と外国人に係る企業・団体・個人向け
相談/サポート事業**

NPO法人 グローバルライフサポートセンター

【ホームページバナー】



【相談の様子】

特定非営利活動法人チャイルドライン「もしもしキモチ」

＜子どもの虐待防止月間に合わせた子ども電話相談広報強化事業＞

ー 令和3年度補助額：194,541円ー

団体紹介

チャイルドラインは、18歳までの子どものための相談先です。チャイルドライン支援センター（東京）を中心に、全国68の市民団体が連携し、ネットワークを活かして、毎日、電話・オンラインチャットで子どもたちの「声」を受け止めています。「もしもしキモチ」は2002年1月に設立され、認定NPO法人にも認定されています。



【広報カード配布準備の様子】



【カードを紹介する新聞記事】

補助事業概要

コロナ禍の中で、中・高生（特に女性）の自殺者が過去最悪を記録している状況があり、チャイルドラインは11月の全国児童虐待防止月間に合わせて、チャイルドラインの周知キャンペーンを実施しました。

当法人では、キャンペーンの一環として広報用のポスター・カードを作成し、ポスターは、福岡市立の小・中・高等学校、特別支援学校に加え、私立小・中学校240校を対象に配布し、対象学校の生徒に向けて約16万枚のカードを配布しました。令和3年度は、電話で1,247件、チャットで89件の着信がありました。

特定非営利活動法人日本交通安全教育振興会

<フードデリバリー若年層配達員向けの自転車交通安全講習会>

— 令和3年度補助額：440,000円—

団体紹介

当法人は、公共道路を自動車や自転車で運転する市民・団体等を対象に、交通安全教室の開催や後方支援を行い、安全な運転を心がける運転者のマナー向上、飲酒運転の撲滅、及び道路交通法遵守の精神育成に寄与すること、交通事故の被害者・遺児の方達への支援、地域安全などの公益増進に寄与することを目的とする団体です。



【交通事故遺族講演会の様子】

補助事業概要

コロナ禍の影響でフードデリバリー需要が拡大し、その影響で配達員の交通事故が社会問題となっていました。その問題を解決するために配達員向けの交通安全講習会を実施しました。内容はスケアードストレートという教育技法を使った交通事故再現です。この教育技法は学習者に交通事故の怖さを実感させ、交通マナーの意識を高めるというものです。

開催当日は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の為にライブ配信となり、恐怖を与えるという意味では少し弱まった形になりましたが、想定観覧者数（50名）より多くの方（総視聴者数238名）に視聴して頂きました。



【スケアードストレートの様子】



【ライブ配信の様子】

特定非営利活動法人箱崎自由学舎ESPERANZA

<守ろう！コロナ禍での子どもの遊び場！事業>

— 令和3年度補助額：500,000円—

団体紹介

不登校児童生徒の居場所としてフリースクール運営をおこなっているNPO法人です。小4～概ね20歳ぐらいの子ども・若者の居場所として、学習活動や農業体験、ランチクッキングなど、さまざまな体験活動を通して、自身の認め、自信をつけていくことを目的としています。



【ボードゲームを囲み
コミュニケーションを取っている様子】

補助事業概要

一斉休校等なく、子どもたちの居場所に関しても各所開設はされていたものの、様々な制限が設けられている状況であり、特に活動の制限が加えられていたのが、学習活動以外の遊び体験や居場所活動でした。今回、放課後安心して過ごせる居場所としてボードゲームやおしゃべりなどをして過ごせる場を週に1度開設しました。また月に1度、臨床心理士を招き、コロナ禍での子どもたちの心身のサポートを行いました。参加した子どもたちからは「いろんなボードゲームがあって楽しかった。」「いろいろ遊べて楽しかった。」などの声がありました。



【臨床心理士を交え
ボードゲームをおこなっている様子】



【ボードゲームを楽しんでいる様子】

認定NPO法人にこそま九州

＜国際小児がんデイイベントWEB配信＞

— 令和3年度補助額：500,000円—

団体紹介

小児がんを経験した子ども達が自然の中でのびのび楽しく遊び、不安や悩みを共有できる場として、「にこそまキャンプ」を2010年から開催しています。2012年にNPO法人化し、2016年に認定NPO法人を取得。小児・AYA世代のがん経験者の茶話会「にこトーク」、小児がん経験者とその家族の交流会「にこそま家族の集い」、小児がんに対する啓発活動などを行っています。

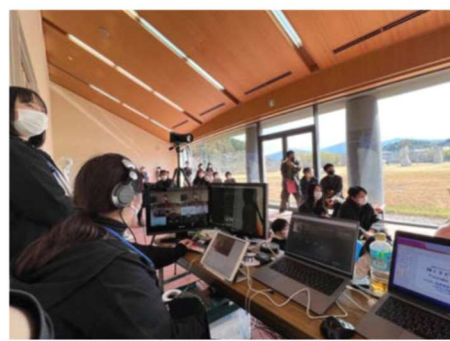


【イベントチラシ】

補助事業概要

2月11日（金・祝）～20日（日）に嘉麻市織田廣喜美術館にて開催された、国際小児がんデイキャンペーン2022「輝く子どもたちの作品展」のイベント企画である、医師による講演、小児がん経験者のクラウンショーやトークセッションをWEB配信しました。WEB配信は入院中の小児がん経験者やご家族を中心に案内し、一般の支援者等にも生配信やアーカイブ配信の案内を行いました。

※国際小児がんデイ（ICCD: International Childhood Cancer Day）は毎年2月15日



【配信操作の様子】



【配信と会場の様子】

あすみん夢ファンドは、 ふくおか応援寄付(ふるさと納税)の寄付先のひとつです

■寄付の決済方法が選べます！

郵便局、銀行、コンビニエンスストアでの払込み、クレジットカード決済、Amazon Pay、メルペイ、PayPal、楽天ペイ、au PAY、携帯キャリア決済、ネットバンキング、ペイジーの12の決済方法から選択できます。手数料はいずれも不要です。

■返礼品を進呈します！（市外居住の寄付者（個人））

1万円以上の寄付をいただいた方に、寄付額に応じた返礼品を進呈します。
ふくおか応援寄付返礼品につきましては、下記QRコードを読み取りください。



■税制上の優遇措置が適用されます！

個人の方は、所得税と個人住民税で寄付金税額控除を受けることができます。
(詳細は、お住まいの地区を管轄する税務署、市区町村役場にお問い合わせください。)

法人の方は、全額を損金算入することができます。

■申告に関する手続きが簡単！

特定の条件を満たす個人の方は、ワンストップ特例制度を利用する旨の申請書を提出することで、確定申告をしなくても寄付金税額控除を受けることができます。

福岡市のご当地 WAON カードを使うことで 寄付できます

イオン九州株式会社より、福岡市のご当地 WAON カード「FUKUOKA OMOIYARI KIDS WAON」のご利用額の 0.1% を寄付していただいています。全国の WAON 加盟店で利用でき、どこで利用してもあすみん夢ファンドに寄付されます。



自動販売機の設置やジュース等を購入することで 寄付できます

高原ミネラル(株)、コカ・コーラボトラーズジャパン(株)、(株)ジャパンビバレッジ九州、自動販売機設置者の皆様のご協力により、あすみん夢ファンド自動販売機を設置し、売上の一部を寄付していただいています。

自動販売機設置者の皆様

- ◇(株)愛しとーと
- ◇(株)オオツカ・ガスエンジニアリング
- ◇(株)環境開発
- ◇福岡環境整備(株)
- ◇(株)やまやコミュニケーションズ
- ◇福岡市教職員組合
- ◇福岡中央児童会館等建替え整備事業(株)
- ◇「あすみん」マネジメントグループ

(特定非営利活動法人九州コミュニティ研究所 / 株式会社ミカサ)



不要になった入れ歯やアクセサリーで 寄付できます！

NPO法人日本入れ歯リサイクル協会のご協力により、福岡市役所本庁舎・各区役所など市内 13 か所に回収ボックスを設置しています。

回収した不要入れ歯やアクセサリーに含まれる貴金属をリサイクルすることによって得られる収益の 40 パーセントが、あすみん夢ファンドに寄付されます。

回収ボックス設置場所

- ◇福岡市役所本庁舎 1 階ロビー
- ◇東区役所 1 階ロビー
- ◇博多区役所 1 階総合案内
- ◇中央区役所 1 階入り口
- ◇南区役所 別館社会福祉協議会受付
- ◇城南区役所 1 階入り口
- ◇早良区役所 2 階階段横
- ◇西区役所 1 階入り口
- ◇入部出張所 1 階窓口
- ◇西部出張所 3 番窓口
- ◇福岡市市民福祉プラザ 1 階案内横
- ◇福岡市葬祭場 1 階受付
- ◇福岡市NPO・ボランティア交流センター あすみん



福岡市 NPO 活動支援基金(あすみん夢ファンド)令和3年度活動報告書
令和4年9月発行

福岡市市民局コミュニティ推進部市民公益活動推進課
〒810-8620 福岡市中央区天神 1 丁目 8 番 1 号
電話：092-711-4283 FAX：092-733-5768
MAIL：koeki.CAB@city.fukuoka.lg.jp